

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 7 年 6 月 25 日	
岩手県知事 達増 拓也 殿	
提出者	
住 所 岩手県北上市和賀町後藤 2地割106番地6	
氏 名 株式会社 I J T T	
北上工場長 梶山 仁	
電話番号 0197-56-7111	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 I J T T 北上製造部 鑄造第3グループ (奥州製造所)
事業場の所在地	岩手県奥州市前沢古城字姥沢105番地10
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	輸送用機械器具製造業・自動車部分品・附属品製造業
② 事業の規模	製造品販売額 19億円/年（令和6年度実績）
③ 従業員数	73名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

（日本産業規格 A列4番）

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
別紙のとおり

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) —
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) —

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】 —		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 —		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】 —		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 —		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】 —		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 —		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

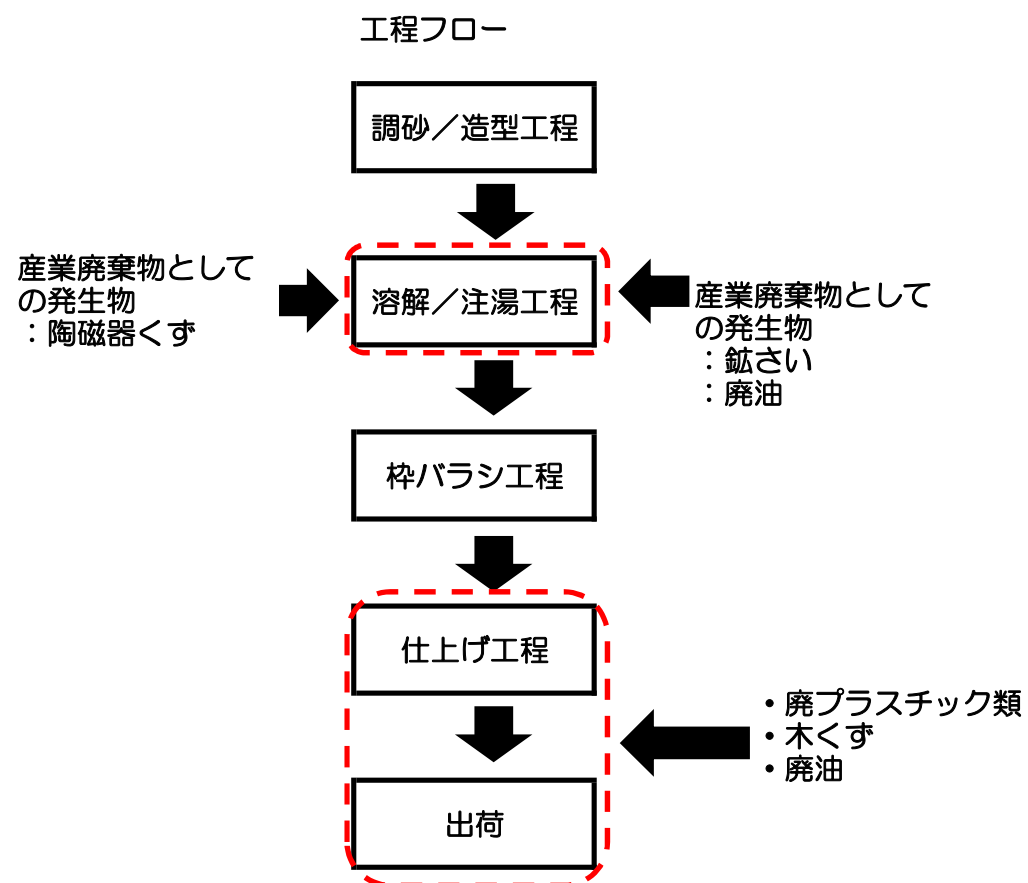
## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

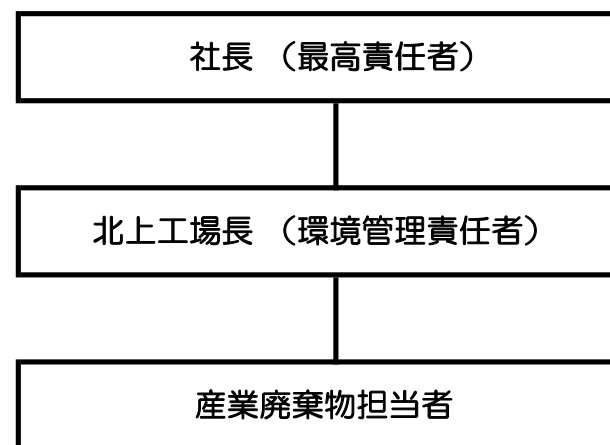
(第5面)

②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

## I. 産業廃棄物の一連の処理工程



## II. 産業廃棄物処理に係る管理体制



### Ⅲ．産業廃棄物の排出の抑制に関する対応事項

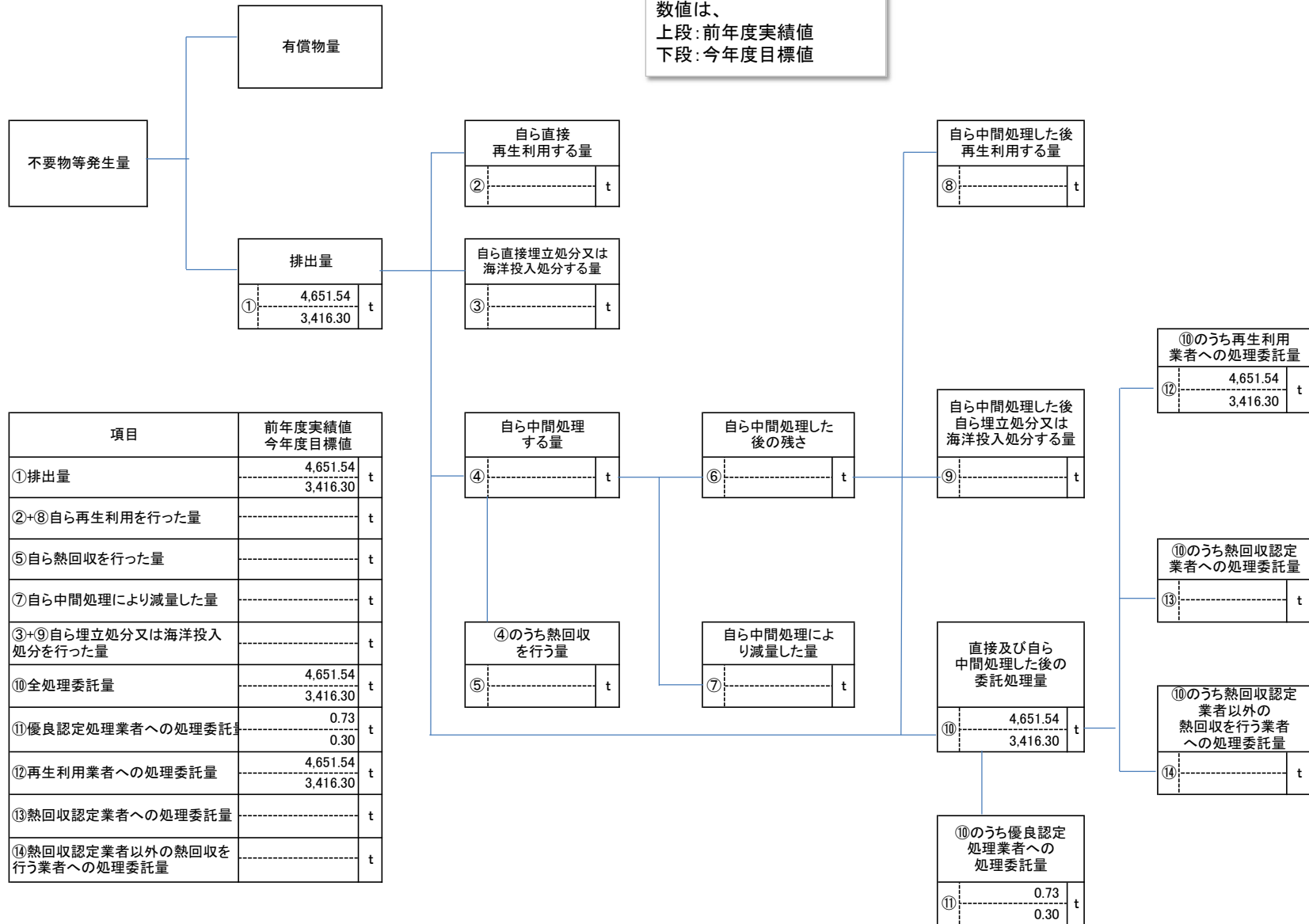
単位：ton

産業廃棄物の種類	令和6年度実績値	令和7年度目標 (※1)	削減目標量	目標達成の為の施策（検討事項含む）
鋳さい	4231.37	3110	▲ 1121.37	廃鋳物砂の再利用検討継続
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	297.85	218	▲ 79.85	キュポラ煉瓦の再利用改善による産業廃棄物発生量の抑制
廃プラスチック類	105.48	77	▲ 28.48	設備定期修繕部品の長寿命化による排出量抑制
木くず	16.31	11	▲ 5.31	材料納品時荷姿改善及びパレット返却による排出量抑制
金属くず	0.52	0.3	▲ 0.22	社内分別による金属売却化
蛍光灯	0.01	0	▲ 0.01	LED化（長寿命化）および破損防止カバー取付による排出量抑制
合計	4651.54	3416.3	▲ 1235.2	

※1：2025年12月に当工場閉鎖予定のため、令和7年4～12月の目標とした。

(産業廃棄物の種類: 全体)

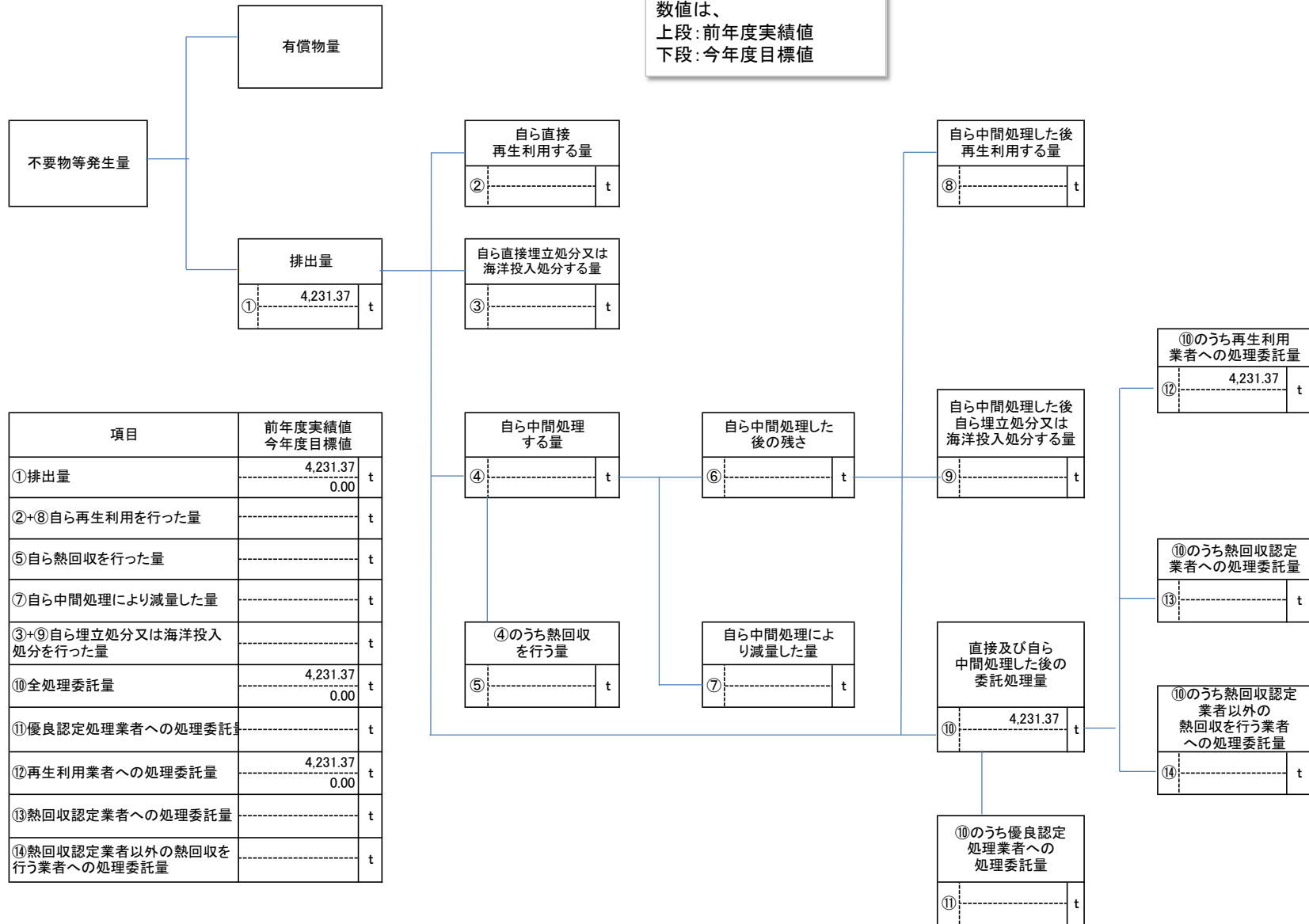
数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値





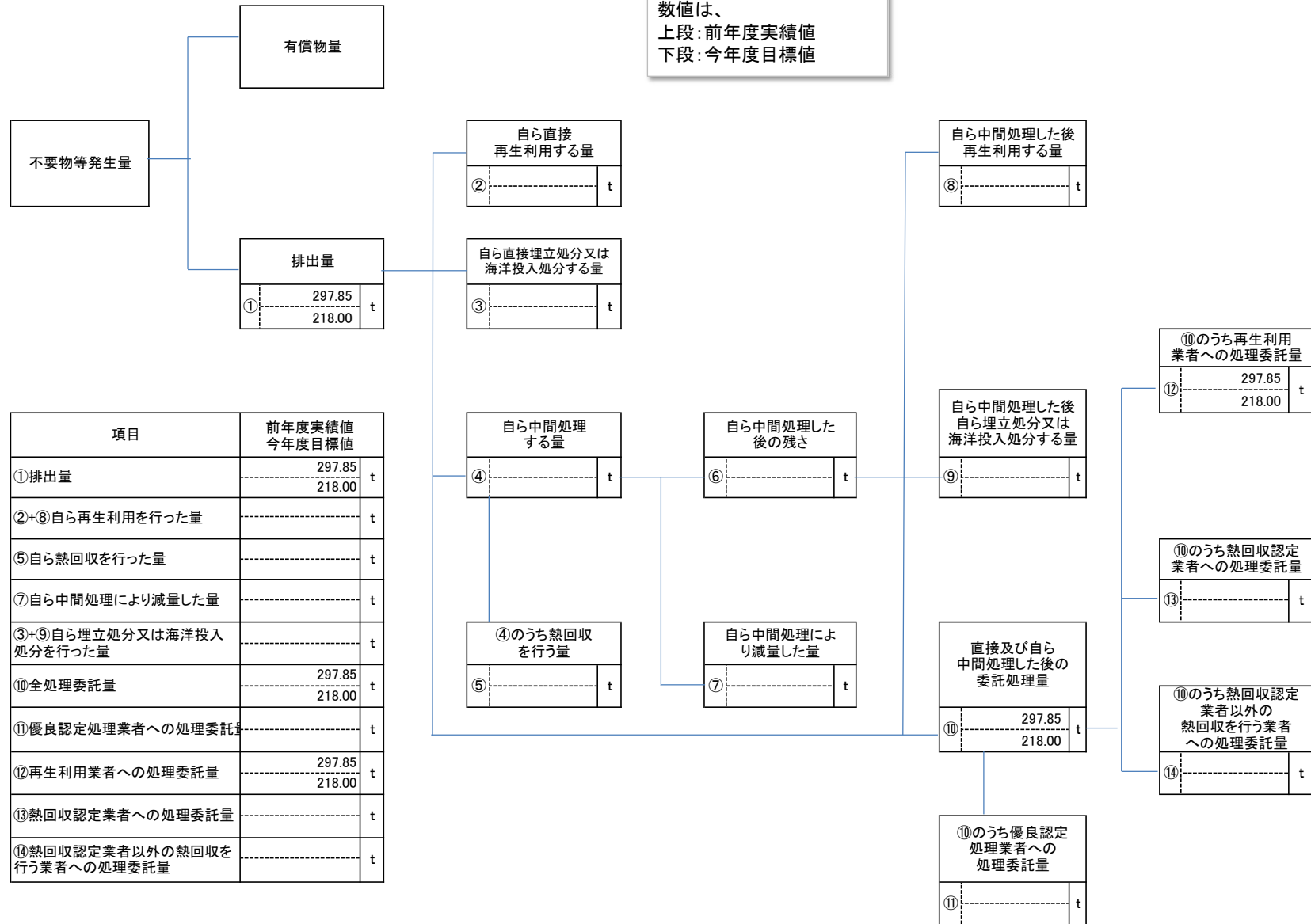
(産業廃棄物の種類: 鋳さい)

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



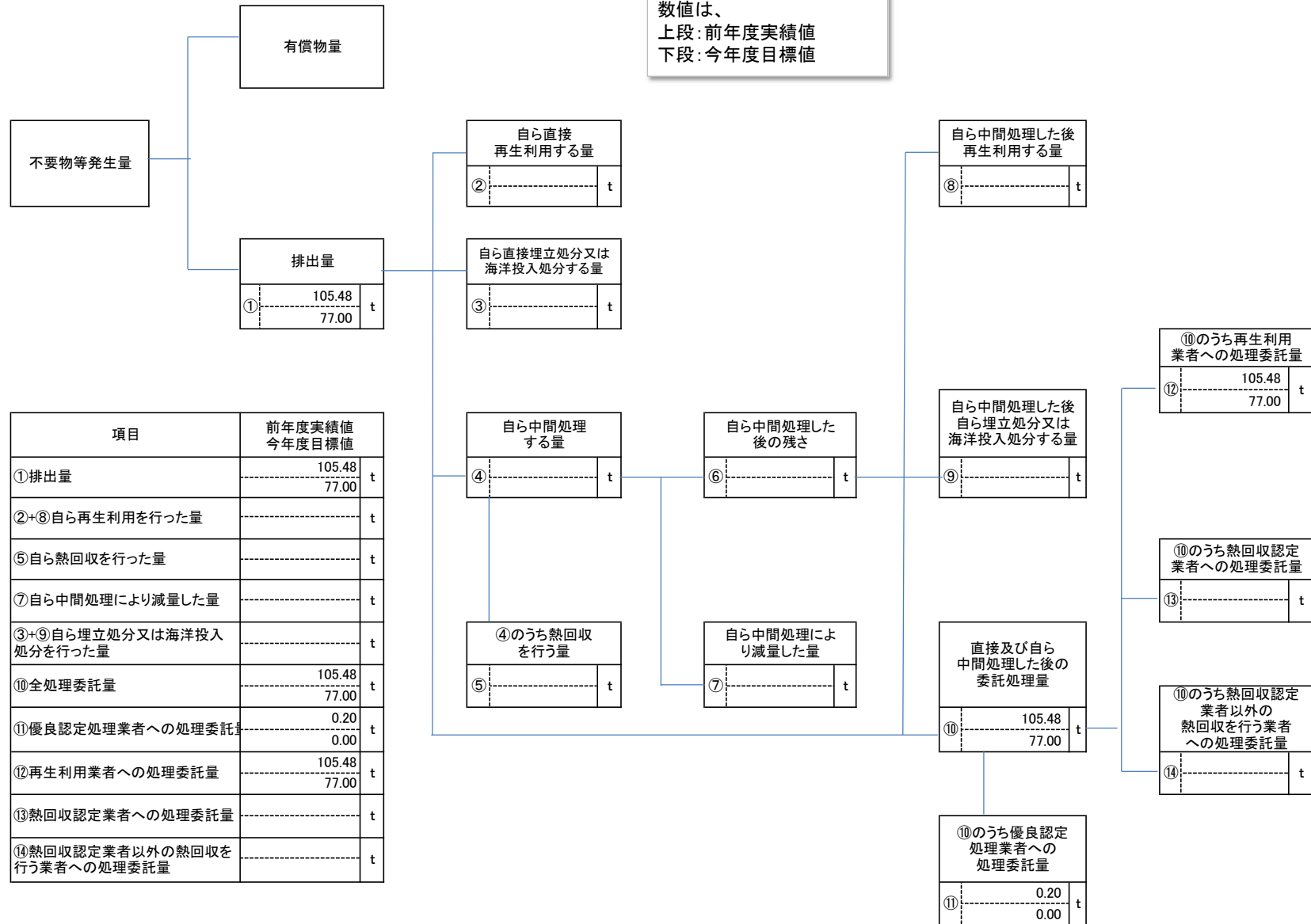
(産業廃棄物の種類: ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず)

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



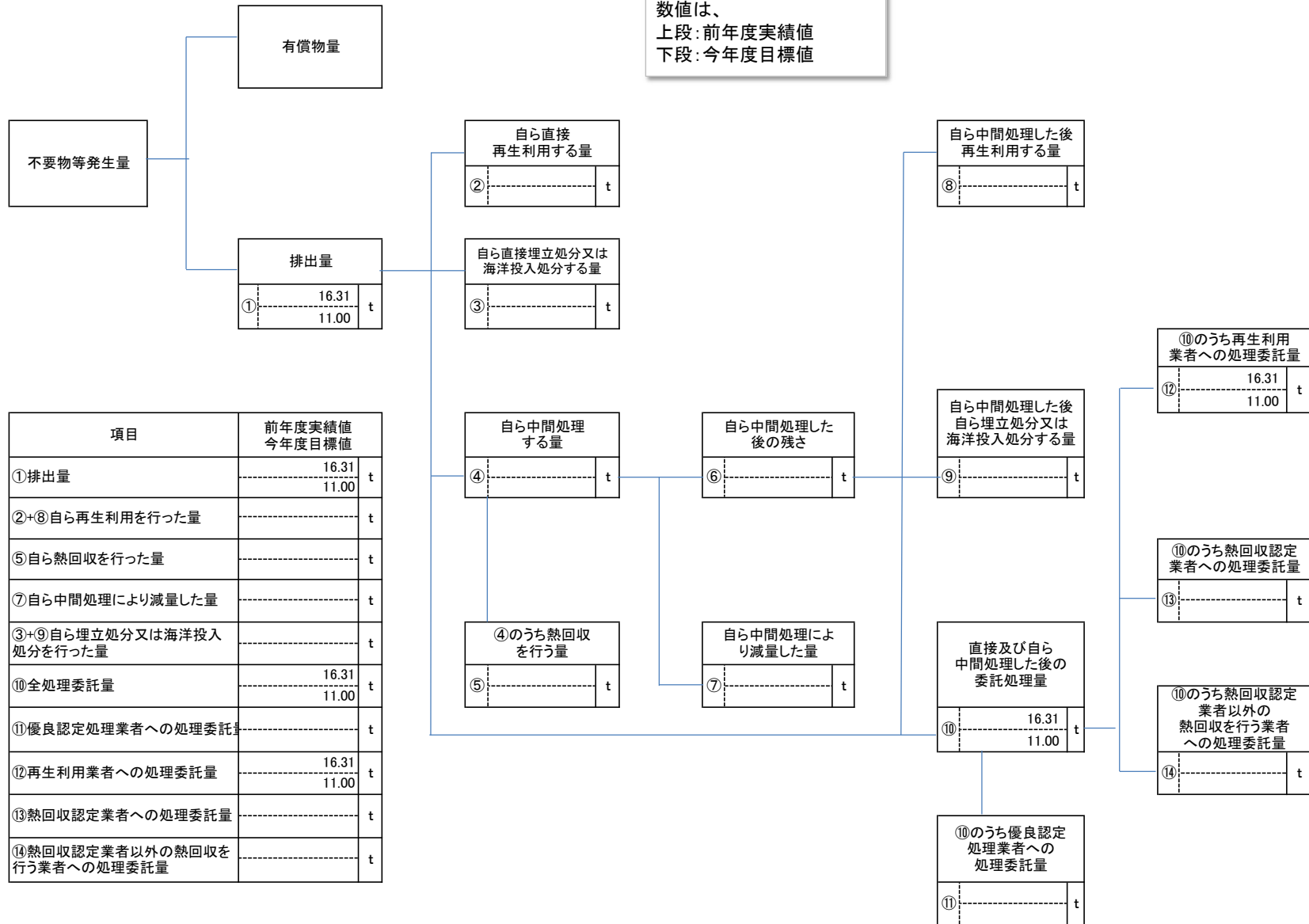
(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



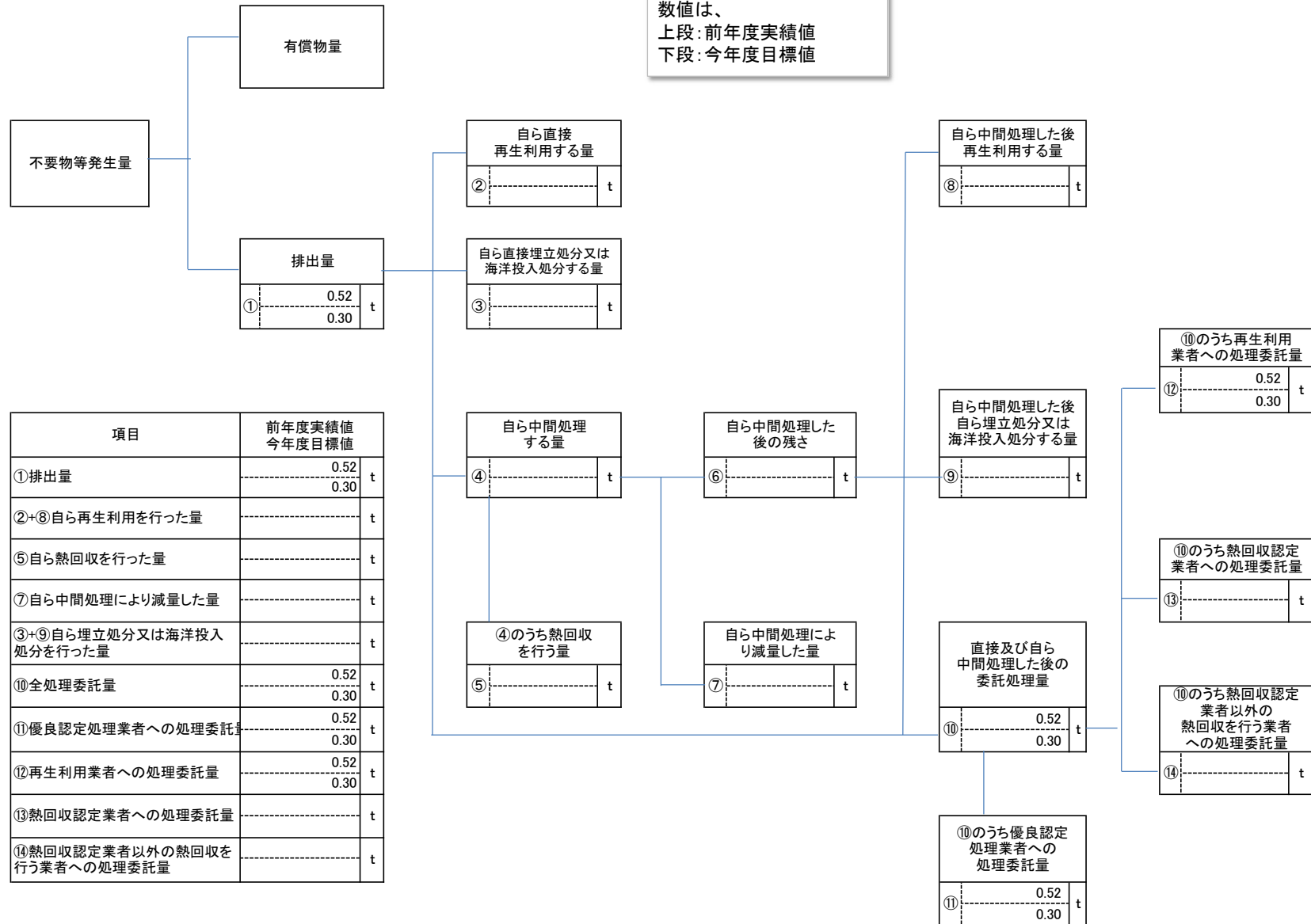
(産業廃棄物の種類: 木くず )

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 金属くず)

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 蛍光灯)

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値

